

選択肢別回答数

2012年03月11日 実施

特別区Ⅰ類

教養択一試験

会場＋自宅

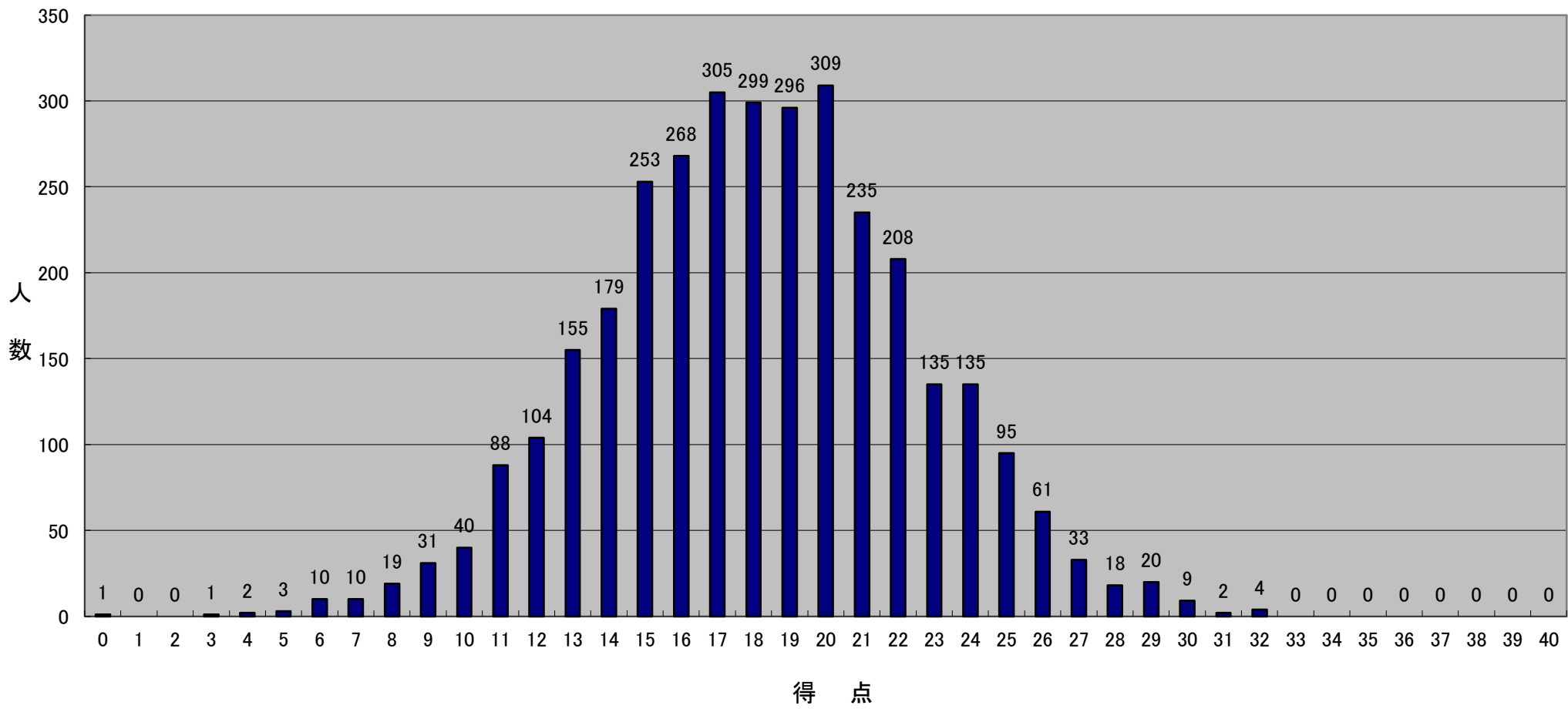
総受験者数

3328

	文章	文章	文章	文章	文章	文章	文章	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	社会	社会	社会	社会	社会	社会	人文	人文
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17	No.18	No.19	No.20	No.21	No.22	No.23	No.24	No.25	No.26	No.27	No.28	No.29	No.30
肢1	118	13	854	34	97	1732	167	128	444	437	632	200	229	617	410	205	448	227	1258	302	102	483	117	678	283	190	657	389	361	319
	3.5%	0.4%	25.7%	1%	2.9%	52%	5%	3.8%	13.3%	13.1%	19%	6%	6.9%	18.5%	12.3%	6.2%	13.5%	6.8%	37.8%	9.1%	3.1%	14.5%	4%	22.1%	10.4%	7%	28%	15.4%	17.8%	11.1%
肢2	52	114	1927	44	222	100	1322	212	274	338	627	1140	1302	553	383	411	229	1065	211	580	197	815	2059	849	350	266	284	348	791	781
	1.6%	3.4%	57.9%	1.3%	6.7%	3%	39.7%	6.4%	8.2%	10.2%	18.8%	34.3%	39.1%	16.6%	11.5%	12.3%	6.9%	32%	6.3%	17.4%	5.9%	24.5%	71.2%	27.6%	12.8%	9.7%	12.1%	13.8%	38.9%	27.2%
肢3	1808	144	388	126	2180	880	717	774	326	626	1097	446	819	1326	1247	272	960	1116	865	650	221	643	321	414	206	629	447	258	322	1483
	54.3%	4.3%	11.7%	3.8%	65.5%	26.4%	21.5%	23.3%	9.8%	18.8%	33%	13.4%	24.6%	39.8%	37.5%	8.2%	28.8%	33.5%	26%	19.5%	6.6%	19.3%	11.1%	13.5%	7.5%	23%	19.1%	10.2%	15.8%	51.7%
肢4	52	448	67	1791	255	416	955	2026	962	1779	671	1204	477	499	658	616	1404	323	585	1256	2614	792	307	351	1705	1465	610	1070	314	103
	1.6%	13.5%	2%	53.8%	7.7%	12.5%	28.7%	60.9%	28.9%	53.5%	20.2%	36.2%	14.3%	15%	19.8%	18.5%	42.2%	9.7%	17.6%	37.7%	78.5%	23.8%	10.6%	11.4%	62.4%	53.6%	26%	42.4%	15.5%	3.6%
肢5	1292	2594	80	1326	549	163	97	98	1166	101	166	189	364	150	381	1755	193	499	298	384	94	290	78	769	179	171	334	445	231	171
	38.8%	77.9%	2.4%	39.8%	16.5%	4.9%	2.9%	2.9%	35%	3%	5%	5.7%	10.9%	4.5%	11.4%	52.7%	5.8%	15%	9%	11.5%	2.8%	8.7%	2.7%	25%	6.5%	6.3%	14.3%	17.6%	11.4%	6%
正 答	3	5	2	4	3	1	2	4	5	4	3	2	4	3	3	5	4	3	1	4	4	2	2	1	4	4	5	4	2	3
正答者数	1808	2594	1927	1791	2180	1732	1322	2026	1166	1779	1097	1140	477	1326	1247	1755	1404	1116	1258	1256	2614	815	2059	678	1705	1465	334	1070	791	1483
正答率(%)	54.3%	77.9%	57.9%	53.8%	65.5%	52%	39.7%	60.9%	35%	53.5%	33%	34.3%	14.3%	39.8%	37.5%	52.7%	42.2%	33.5%	37.8%	37.7%	78.5%	24.5%	71.2%	22.1%	62.4%	53.6%	14.3%	42.4%	38.9%	51.7%
選択率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87	92	82	82	70	76	61	86

[illegible]

得点分布グラフ



上位者ランキング

順位	会員番号	受験番号	得点	受験地
1	0102942205	050009	32	水道橋
1	0103342398	910027	32	自宅
1	0104467804	280190	32	横浜
1	9510801250	801250	32	立命館
5	0104092202	460089	31	梅田
5	0103577907	910323	31	自宅
7	0100045433	190162	30	立川
7	0100047733	110005	30	早稲田
7	0100191335	340021	30	津田沼
7	0101709627	330032	30	津田沼
7	0101735506	430180	30	京都
7	0102897403	370036	30	名古屋
7	0104072604	270063	30	横浜
7	0104446704	260127	30	横浜
7	9100864107	910292	30	自宅

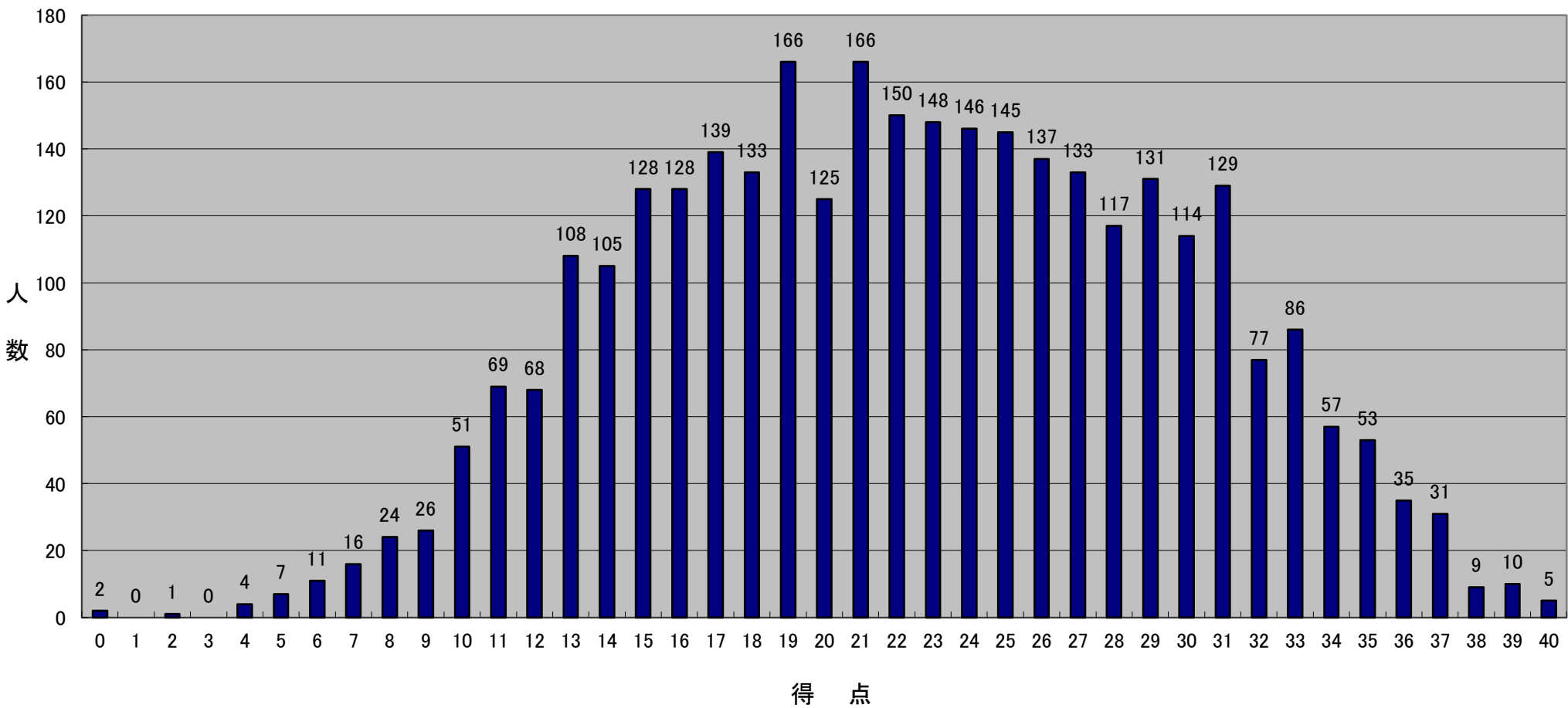
選択肢別回答数

2012年03月11日 実施

特別区Ⅰ類				専門択一試験										会場＋自宅										総受験者数										3190									
	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	法律系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系							
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17	No.18	No.19	No.20	No.21	No.22	No.23	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系							
肢1	156	74	28	61	51	36	116	1086	125	291	43	186	503	103	353	400	331	77	121	258	124	366	54	1575	42	457	124	1119	490	17													
	5%	2.4%	0.9%	2%	1.6%	1.2%	4%	41.5%	4.3%	10.2%	1.6%	6.3%	17.7%	3.7%	12.9%	15.8%	14.5%	3.3%	4.7%	10.8%	8.4%	15.7%	3.5%	63.6%	1.5%	16.6%	5.1%	57%	32.6%	0.8%													
肢2	145	85	438	1210	131	189	1857	844	238	302	376	458	352	168	1434	624	389	553	184	868	658	1025	657	619	1917	114	134	128	346	76													
	4.7%	2.8%	14.3%	38.7%	4.2%	6.3%	64.1%	32.3%	8.1%	10.5%	13.7%	15.5%	12.4%	6%	52.2%	24.6%	17.1%	23.6%	7.2%	36.5%	44.5%	43.9%	42.9%	25%	68.6%	4.1%	5.6%	6.5%	23.1%	3.7%													
肢3	109	76	866	49	1801	1897	102	166	158	1748	121	398	658	790	465	351	209	937	1861	159	341	110	339	76	39	124	1323	249	266	1735													
	3.5%	2.5%	28.2%	1.6%	58%	63.4%	3.5%	6.3%	5.4%	61%	4.4%	13.5%	23.1%	28%	16.9%	13.9%	9.2%	39.9%	72.4%	6.7%	23%	4.7%	22.1%	3.1%	1.4%	4.5%	54.9%	12.7%	17.7%	84.6%													
肢4	267	2645	1684	1335	256	737	541	356	120	283	1592	386	377	1348	324	739	1191	618	173	967	230	256	427	46	510	1875	615	329	205	156													
	8.6%	87.1%	54.9%	42.7%	8.3%	24.6%	18.7%	13.6%	4.1%	9.9%	57.8%	13.1%	13.2%	47.9%	11.8%	29.2%	52.3%	26.3%	6.7%	40.6%	15.5%	11%	27.9%	1.9%	18.2%	68%	25.5%	16.8%	13.7%	7.6%													
肢5	2426	154	52	468	862	132	279	163	2291	240	620	1517	954	406	167	416	154	159	230	124	123	571	51	155	283	183	208	133	190	62													
	78.1%	5.1%	1.7%	15%	27.8%	4.4%	9.6%	6.2%	78.1%	8.4%	22.5%	51.5%	33.5%	14.4%	6.1%	16.4%	6.8%	6.8%	8.9%	5.2%	8.3%	24.5%	3.3%	6.3%	10.1%	6.6%	8.6%	6.8%	12.7%	3%													
正 答	5	4	4	2	3	3	2	1	5	3	4	3	5	3	2	5	4	3	3	4	2	2	2	1	2	4	3	1	1	3													
正答者数	2426	2645	1684	1210	1801	1897	1857	1086	2291	1748	1592	398	954	790	1434	416	1191	937	1861	967	658	1025	657	1575	1917	1875	1323	1119	490	1735													
正答率(%)	78.1%	87.1%	54.9%	38.7%	58%	63.4%	64.1%	41.5%	78.1%	61%	57.8%	13.5%	33.5%	28%	52.2%	16.4%	52.3%	39.9%	72.4%	40.6%	44.5%	43.9%	42.9%	63.6%	68.6%	68%	54.9%	57%	32.6%	84.6%													
選択率(%)	97	95	96	98	97	94	91	82	92	90	86	92	89	88	86	79	71	74	81	75	46	73	48	78	88	86	75	62	47	64													

	経済系	経済系	経済系	経済系	経済系	会計系	会計系	会計系	会計系	会計系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系	政治系											
	No.31	No.32	No.33	No.34	No.35	No.36	No.37	No.38	No.39	No.40	No.41	No.42	No.43	No.44	No.45	No.46	No.47	No.48	No.49	No.50	No.51	No.52	No.53	No.54	No.55											
肢1	237	189	192	62	784	166	100	1672	525	294	364	123	59	1408	201	125	433	51	71	156	167	197	103	56	1083											
	12.9%	11.6%	9.1%	5.6%	55.4%	7.9%	6.3%	72.9%	32.8%	16.4%	12.4%	5.2%	2%	62.4%	7.2%	6.9%	17.9%	2.3%	3.7%	6%	9.3%	12.9%	6.3%	2.9%	61.4%											
肢2	133	233	1171	112	138	175	162	76	258	385	181	366	214	366	320	142	50	1204	100	48	122	849	175	25	117											
	7.2%	14.3%	55.4%	10.2%	9.7%	8.3%	10.3%	3.3%	16.1%	21.5%	6.2%	15.6%	7.1%	16.2%	11.4%	7.8%	2.1%	55%	5.2%	1.9%	6.8%	55.6%	10.8%	1.3%	6.6%											
肢3	379	850	321	297	185	1133	636	136	112	153	121	306	24	68	1936	1158	1606	744	92	2124	1044	194	1050	80	106											
	20.6%	52%	15.2%	26.9%	13.1%	53.7%	40.3%	5.9%	7%	8.5%	4.1%	13%	0.8%	3%	68.9%	63.8%	66.4%	34%	4.8%	82.1%	58%	12.7%	64.5%	4.2%	6%											
肢4	882	201	193	494	104	162	564	200	595	867	96	416	533	278	247	318	210	83	66	111	351	73	154	1618	256											
	47.9%	12.3%	9.1%	44.8%	7.3%	7.7%	35.8%	8.7%	37.1%	48.4%	3.3%	17.7%	17.6%	12.3%	8.8%	17.5%	8.7%	3.8%	3.5%	4.3%	19.5%	4.8%	9.5%	84.6%	14.5%											
肢5	203	155	232	132	199	468	106	200	103	84	2161	1124	2188	129	95	42	99	91	1558	132	59	151	91	81	141											
	11%	9.5%	11%	12%	14.1%	22.2%	6.7%	8.7%	6.4%	4.7%	73.6%	47.9%	72.3%	5.7%	3.4%	2.3%	4.1%	4.2%	81.7%	5.1%	3.3%	9.9%	5.6%	4.2%	8%											
正 答	4	3	2	5	1	3	3	1	1	4	5	5	5	1	3	3	3	2	5	3	3	5	3	4	1											
正答者数	882	850	1171	132	784	1133	636	1672	525	867	2152	1116	2175	1399	1919	1151	1596	1194	1544	2091	1027	150	1032	1585	1053											
正答率(%)	47.9%	52%	55.4%	12%	55.4%	53.7%	40.3%	72.9%	32.8%	48.4%	73.2%	47.6%	71.9%	62%	68.3%	63.5%	66%	54.5%	81%	80.8%	57%	9.8%	63.4%	82.9%	59.7%											
選択率(%)	58	51	66	35	44	66	49	72	50	56	92	74	95	71	88	57	76	69	60	81	56	48	51	60	55											

得点分布グラフ



上位者ランキング

順位	会員番号	受験番号	得点	受験地
1	0100037033	300021	40	大宮
1	0102919305	060020	40	水道橋
1	0102960003	380080	40	名古屋
1	0104124602	460048	40	梅田
1	0104242804	270040	40	横浜
6	0100044333	110003	39	早稲田
6	0100336128	140047	39	池袋
6	0100361128	090065	39	新宿
6	0101734317	490051	39	なんば
6	0103652007	130124	39	池袋
6	0104427804	270071	39	横浜
6	9100037938	190179	39	立川
6	9100345827	180045	39	渋谷
6	9100650024	160145	39	渋谷
6	9103284598	170131	39	渋谷
16	0100138435	340066	38	津田沼
16	0100217826	010065	38	札幌
16	0100424628	190034	38	立川
16	0101530118	180015	38	渋谷
16	0103215898	190114	38	立川
16	0103335404	050161	38	水道橋
16	0104411704	270118	38	横浜
16	0177373895	200022	38	立川
16	9100076135	340098	38	津田沼

TAC公務員講座 第1回公開模試（特別区Ⅰ類） 講評

I. 教養択一試験

- 1. 文章理解** 特別区Ⅰ類は毎年平易な文章問題が出題される。現代文は文章が平易な分、選択肢を選ぶのかえって迷ってしまうことがあるので、接続詞などを読み解きながら素直に考えるとよい。英文は時事英文が特に得点しやすい。英語が苦手な人でも選択肢を読むことでどのような文章か当たりを付け、少しでも読んでみようとするのが大切だ。
- 2. 数的処理** 今回の模試では、本試験で出題頻度の高い分野を中心に出题した。【No.8】(トナメント戦)は頻出分野である。点数の条件がある場合は、その条件を整理することから始めるとよいだろう。【No.9】(数量推理)も頻出であるが、13 点の取り方を書き出しても解ける平易な問題である。【No.11】(対応関係)は、かなり難易度が高いので、深入りは禁物である。【No.13】(確率分の確率)は、近年、出題頻度の高い分野である。条件を読み落とさずに解けたかどうかに尽きる。【No.16】～【No.19】(いずれも資料解釈)は、すべて難易度が低めに設定されているので、最低でも3問は正解したい。【No.20】(積み木)は少し変わった問題だが、過去に何度か出題されている。難易度は低いので、しっかり復習してほしい。【No.22】(軌跡)は頻出分野であるが、近年、本試験では難易度は高くなっているので、注意が必要である。以上を考慮すると、15 問中 9 問以上は正解してもらいたい。
- 3. 人文科学** いずれも頻出分野から出題されている。日本史・世界史ともに通史からの出題はあまりみられないため、直前期は頻出の時代である江戸時代・明治時代を中心に学習を進めるとよいだろう。世界史も同様であり、近代以降からの出題が頻出である。地理は気候区分・地形などの自然地理分野が頻出である。
- 4. 社会科学・時事** 法学・経済・社会ともに基本的な内容を問うている。特別区Ⅰ類はいわゆる頻出分野から出題されるため対策も進めやすく、専門分野の学習で十分に対応が可能である。しかし、時事はかなり細かいことまで問われるため、本試験でも半分とればよいだろう。
- 5. 自然科学** 基本レベルから発展レベルまでを出題した。【No.41】、【No.42】のように、数学では解法を知らなければ解くことができない問題が多い。数学が苦手な者は、解法を知ることから始めてみるようにしてもらいたい。また、【No.45】のような電気回路の問題も頻出であるので、確実に正答を得たい。12 問中 10 問以上は正答を得たい。

II. 専門択一試験

- 1. 法律系** まず、例年の模試で毎回指摘していることであるが、正答率の高い基本問題(65%以上の問題)を確実に得点できているかを確認してほしい。本試験でも基本問題を確実に得点できることが合否を分けるからである。**憲法人権**については、問われた基本判例・重要判例を再度確認しておくこと。【No.4】のプライバシー権に関する判例(早稲田大学名簿無断提出事件、住基ネット訴訟等)、【No.5】の信教の自由(愛媛玉串料訴訟、空知太神社事件等)に関する判例については再度、事案等を含めて確認してほしい。近時の本試験は判例の結論だけでなく理由づけも問われる傾向にあるためである。特に空知太神社事件(最大判平 22・1・20)は要注意である。統治については【No.1】の国会、【No.2】の財政、【No.3】の司法権に関する基本条文を再度確認すること。統治に関しては条文がストレートに問われる傾向にあるからである。**行政法**に関しては、行政上の法律関係に関する【No.6】については民法の適用の有無を、行政罰に関する【No.7】については概念の整理を確認すること。行政契約に関する【No.8】については公害防止協定に関する最判平 21・7・10 を再度確認しておくこと。国家賠償法 1 条に関する【No.9】については基本判例(宅建法事件、在外国民の選挙権訴訟等)を押さえること。肢 4 の最新判例(最判平 19・1・25)も要注意である。抗告訴訟の処分性に関する【No.10】についても土地地区画整理事業計画の決定につき処分性を肯定した判例(肢 1)及び行政指導に処分性を肯定した医療法事件(肢 2)の判例を確実に押さえることがポイントである。**民法**については、マイナー分野からの出題が目立った年もあるが、今回は比較的手薄になりがちなテーマを中心に出题されている。今回の模試で問われた条文・判例を中心に要件・効果等の基本事項を整理すること。総則及び物権の分野については、以下の点に注意したい。【No.11】の権利能力な社団については基本事項を、【No.12】では無効と取消しの概念の異同を、【No.13】の即時取得については成立要件を再度確認すること。債権、親族及び相続の分野については【No.16】の保証、【No.17】の弁済等頻出テーマである。特に保証に関しては近時要式契約とされた法改正も要注意である。弁済に関する【No.17】については、債権の準占有者に対する弁済、代物弁済は要注意である。不当利得に関する【No.19】はいわゆる転用物訴権に関する肢 1 の判例、不法原因給付に関する肢 5 の判例を再度確認しておくこと。親族・相続については親子に関する問題の出題が予想される。嫡出否認の訴えと親子関係不存在の訴えの違いを明確にしておくこと。今回、直接は問われていないが、近時、いわゆる離婚後 300 日問題が時事的に問題となっているので、その意味で嫡出推定に関する民法 772 条等も確認しておくこと。
- 2. 経済系** **経済原論**は本試験の傾向を踏まえ、全般的に基本問題を中心に出题している。【No.21】の最適労働供給の問題については、予算制約を定義する際に場合分けをしなければならない問題であったため計算が若干煩雑であるが、解法そのものは基本レベルと言えよう。また、【No.28】の資産効果(ピグー効果とラーナー効果)については、IS-LM 分析の応用分野であるため、内容をフォローしていない受験生にとっては難問だったといえる。以上 2 問以外はいずれも基本問題であり、経済原論を選択する受験生は是非とも得点しておきたいものである。基本事項の整理をして本試験に臨まれたい。**財政学**は本試験の傾向は1問だけ細かい知識を必要とするマイナーな問題が出題されるが、概ねは基本レベルの内容が出題される。本模試はその傾向を踏まえ問題をした。マイナー論点の問題は【No.34】の地方財政の弾力性を判断するための指標に関する出題であるが、この問題はいわゆる「捨て問」であり、本試験時にこの手の問題が出題されたら、選択しないのが無難である(暗記が得意な人を除く)。よって他の問題で得点を稼ぐことが正しい戦略であろう。直前期は不安から、とくにマイナー論点に固執して学習のバランスを崩す受験生が多いので、合格に必要な得点を考え、拾う問題と捨てる問題をしっかり判別して合理的な学習を進めることが望ましい。
- 3. 政治系** **政治学**では、【No.41】のアメリカの大統領制については、制度の基本を理解しているかどうかの平易な問題であった。【No.42】のシェンペーターの民主主義論については、他の論者の民主主義論と区別ができているかを問うもので、こちらも基本的な問題であった。【No.43】のウェーバーの支配の三類型も、それぞれの類型の特徴やあるいは理念型の言葉の意味を承知しているかどうかを問う平易な問題であった。【No.44】のアーモンド&ヴァーバの政治文化論についても、他の論者の学説(政治的無関心など)と彼らの学説の異同が解れば正解肢が選べる問題であった。【No.45】のコーンハウザーの大量社会論は、彼の学説を整理した「表」を知っているかどうかの定番の問題で、これもまた極めて容易なレベルの問題であった。**行政学**では、【No.46】のフリードリッヒとファイナーの行政責任論争については、フリードリッヒの行政官の自律的責任観とファイナーの他律的責任感の相違と、関連事項であるギルバートの行政統制の類型論に混同がなければ解答は比較的容易な問題である。【No.47】のストリート・レベルの行政職員に関する問題は、やや込み入った「ひっかけ」があるが、分析者がリブスキーであり、かつエネルギー振り分けの裁量がストリート・レベルの行政職員の特有ものであることを知っていれば解答は簡単であろう。【No.48】のギューリック学説については、POSDCoRB の意味や、大統領府の設置、組織統制の三原理を押さえていれば容易に解けるであろう。【No.49】のリンドブロムのインクリメンタリズムは、正解肢を「一本釣り」できる問題であり、同学説を知っていれば1分前からず解答できたと思われる。【No.50】の行政国家/福祉国家の問題は、政治学・行政学を通じての基本中の基本の問題であり、その歴史的背景や担った機能を知っていれば解答できたはずである。**社会学**では、【No.51】は大量社会の特徴を細かく問う内容だが、正解肢には定番の内容が書かれており、一本釣りできる。【No.52】はジンメル主張を理解していないと解けない難問だが、東京都Ⅰ類の過去問ではさらに細かい出題があり、特別区Ⅰ類でも出題される可能性がある。【No.53】は易問なので確実に得点しておきたい。【No.54】、【No.55】は、東京都Ⅰ類の過去問とほぼ同様である。特別区Ⅰ類に出題内容が移ってきているので、間違えた場合は解説をよく読んでおこう。
- 4. 経営学** 【No.38】は経営管理学説からの出題である。特別区Ⅰ類の経営学では経営管理学説の出題が多めである。本問は易しめの問題であり確実に正答してもらいたい。【No.36】の経営組織、【No.37】の経営戦略論、【No.39】のマーケティング論、【No.40】の日本企業の生産システム経営はすべて基本的事項からの出題であり、せめて3問は正答してもらいたい。

III. 論文試験

特別区Ⅰ類の教養論文は単なる社会事情ではなく、区に関わる社会の問題が問われる傾向にある。自身の提案が論じられるかどうかで評価が大きく変わってくるので、日頃から漫然と報道等を眺めるのではなく、何故問題が生じるのか、今後どのような対策が求められるのかについて論じるとよい。特別区受験者は国や都のような広域行政ではなく、基礎自治体である区政が行える範囲のことを論じるよう心がけたい。また、問題文をよく読み、問われていることを理解した上で書き進めることが大切だ。

◆ TAC公務員講座 第1回公開模試 結果データ ◆

【特別区Ⅰ類】

	平均点	受験者数	科目	問題番号	科目平均点
教養択一	18.2点	3,328名	文章理解	1～7	4.0点
			数的処理	8～22	6.2点
			社会科学	23～28	2.2点
			人文科学	29～34	1.4点
			時事	35～40	1.9点
			自然科学	41～52	2.5点
専門択一	22.4点	3,190名	法律系	1～20	9.2点
			経済系	21～35	5.1点
			会計系	36～40	1.5点
			政治系	41～55	6.6点
総合成績	39.41点	3,345名	—	—	—

※ 本表の総合成績の平均点は、教養択一と専門択一の合計点で平均を算出しております。